

自民党 後援会員募集中です！詳しくは係員まで！

自由民主党衆議院議員【埼玉 3 区（越谷市・草加市）】

年頭にあたってのご挨拶

～アフリカ出張と新潟岩船沖油ガス田視察～

※きかわだひとしとは？（きかわだひとしプロフィール）

きかわだステーション**第 41 号**きかわだひとし FB はこちら！友達募集中！↑↑↑
衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591

地域の皆様と共に！

自立と誇りある
日本をつくり
日本をつくり
ます**～明けましておめでとうございます～年頭にあたってのご挨拶**

明けましておめでとうございます。自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。

昨年の国会では、平和安全法制等の議論で、いろいろと皆様にご心配をお掛けしました。今国会では、あのような混乱が起きぬよう、より一層、丁寧な国会運営を心掛けてまいります。平和安全法制については、今後の運用実績から、わが国の平和と安全に寄与するものであることを明確にし、皆様に安心していただきたいと思っております。

また、今国会は、私にとって、外務大臣政務官として初めて政府に入って臨む国会となります。衆議院の外務委員会や安全保障委員会、参議院の外交防衛委員会において、政府を代表して答弁することとなります。皆様にわかりやすい説明に努めて参る所存です。是非ともご注目ください。

今年は、伊勢志摩での G7 サミットの開催、アフリカ大陸で初めて行われるアフリカ開発会議など、重要な外交日程が目白押しです。わが国の国連加盟 60 周年記念の節目の年でもあり、国際貢献や海外援助のあり方に、より注目が集まると思われれます。外務大臣政務官としては、例年以上に、海外に赴く仕事が多くなるかもしれません。

このことから、例年、お声掛けいただいております草加、越谷両市内のイベント等に、今までのように参加が叶わず、皆様にご迷惑をお掛けすることも予想されます。

しかし、地元の草加市と越谷市の皆様に対しましては、これまで以上に誠意をもって仕事をしていく所存です。

昨年は台風 18 号による豪雨により、越谷、草加両市内で浸水被害がありました。埼玉 3 区選出の唯一の衆議院議員として、更なる治水対策の強化を進めなければなりません。また、地域経済活性化の起爆剤として、東京オリンピック・パラリンピックに向けての地域の取り組みを積極的に支援して参ります。今まで以上に、皆様と直接お話する機会を大切に、身近な課題に積極的に取り組んで参る所存です。政府の仕事と地域の仕事をバランス良くこなしていくよう努力して参りますので、皆様からの引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成 28 年 1 月吉日

外務大臣政務官／衆議院議員

黄川田仁志



総理公邸で開催された政務官と安倍総理との懇談会の 1 枚。政治家としてのアドバイスを総理から直接ご指導いただきました。

アフリカ各国（ザンビア共和国、ボツワナ共和国、ジブチ共和国、コンゴ共和国、エチオピア連邦民主共和国）出張報告

外務大臣政務官としての初めての出張で、12月8日から12月18日の計11日間にわたり、アフリカ5か国を訪問させていただきました。主な任務は、国連等における各国との緊密連携推進と、来年ケニアで開催するTICAD VI（日本が主導するアフリカ開発会議）への協力要請です。

訪問した国は、ザンビア共和国、ボツワナ共和国、ジブチ共和国、コンゴ共和国、エチオピア連邦民主共和国（訪問順）の計5か国です。大統領や大臣等、各国首脳との会談の他、ジブチ共和国では、ソマリア沖で海賊対策に従事している自衛隊拠点を訪問しました。また、各国で活躍している青年海外協力隊員の激励も行いました。

アフリカでは、中国が大規模なインフラ整備支援等による援助によって影響力を増していると言われています。

しかしながら一方で、日本の援助に大きな期待を寄せている国がたくさんあります。日本の援助は単に建物を建てたり、道路を作ったりするだけでなく、その後のメンテナンスや、国づくりへの汎用性を考えた人材教育等を積極的に行っているためです。

アフリカは、これからの国際社会において、様々な潜在性のある地域です。経済発展が見込まれ、エネルギー等の資源開発の可能性があること、さらには、アフリカ連合は54か国という大所帯であり、国連等の国際場裡において大きな影響力を持っています。国際社会でわが国の考えを理解してもらうためにも、アフリカ各国との友好関係をさらに発展させ、わが国のファンをもっと増やしていく必要があります。



ザンビア共和国ルング大統領との懇談



ソマリア沖海賊対策部隊の自衛隊員を激励

シリーズ・自立と誇りある国づくり報告

日本にある油田をご存知ですか？～新潟岩船沖油ガス田視察～



油田まではヘリコプターで移動



油田で働く人たちは海上で泊まり込みで仕事をしています

12月21日に、新潟岩船沖にある油ガス田を視察させていただきました。この油ガス田は、新潟東港から北東約30kmの海の上にあります。ここで採れた石油や天然ガスは、海底パイプラインを通じて、陸上生産基地に運ばれます。主に、隣接する東北電力の火力発電所で使われています。

今回の視察でわかったことは、日本近海には、石油や天然ガス等、現在の技術でも開発可能な資源がまだあるということです。メタンハイドレートや熱水鉱床は、次の次の世代のエネルギーであり、商業ベースにのせるためには、さらなる技術開発が必要です。これらの研究開発を続けながら、既存の技術で対応可能な資源開発にもしっかりと目を向けていく必要があることをより強く理解できました。



プラットフォーム上にある実際に井戸を掘っている掘削機

きかわだひとしとは？…自民党衆議院議員。2期目。東京理科大卒、米州大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道、空手、野球、落語。妻、長女と越谷市内に在住。現在、第3次安倍改造内閣にて、外務大臣政務官を務める。主に、北米、中南米、日米同盟、国連に係る分野を担当。